このようなイラストを使った伝え方は、いろいろあります。園と保護者の関係が今、どんな状態であるかによって変えてください。なので、ひな型は作ることができません。
（運動会のイラストには不自然な箇所が多々ありますが、保護者の皆さんにも「気にしないで」とお伝えください。Geminiは当初、リレーすら描けなかったので。）

1．日頃から、子どもと保護者のかかわり、子どもと保育者のかかわりの大切さ、かかわりの具体例をこまめに伝えている。「今の発達段階は、今だけのもの！」「今の発達段階の子どもとかかわることができるのは今だけ！」と明るく伝えている。行事のたびに「声援と拍手と笑顔をお願いします！」と明るく伝えている。……ならば、当日、保護者の目に入る場所に貼り出す、あるいは、プロジェクターを使うなら冒頭に投影しておくだけで十分でしょう。

2．こまめに伝えてこなかったのであれば、「子どもたちは必ず、舞台の上から（運動会なら、園庭で）家族を探します。あなたを見つけて、うれしそうに手を振ったら、振り返してあげてください。そんな時、あなたの顔がスマホでずっと隠れていたら？　子どもにとって大切なのは、あなたの笑顔と声援、拍手です」というような文章をつけて、運動会や発表会の何週間も前から伝えましょう（当日、突然伝えるのはナシです）。

★『21世紀の証拠に基づく「子ども育て」の本』の170～172ページの内容（「記録よりも記憶」）も役立ちます。コピーを保護者に渡すなら、余白に必ず本のタイトルを書いてください。

3．上のどちらであれ、「撮影しないで」「スマホを出さないで」と言うのはお勧めしません。「ダメ」と言われれば、人は自分の行動を禁止されたこと自体に反発を感じるからです。「ダメ」を言うのではなく、「こっちのほうがいい／大切」を。

4．園で撮影するのも、容易ではありません。「（写真やDVDが）高い」「撮り方がへた」「うちの子が写っていない」といった声にもつながりかねません。今どきは、プライバシー保護の観点から、自分自身や家族、子どもの映像が他人の手に渡ることを嫌がる保護者もいるでしょう。「撮影禁止」ではなく、「笑顔と声援をいっぱい！」です。

下のそれぞれの画像から、画像ファイルにリンクしています

皆で声援、手拍子
https://kodomoinfo.org/images/wo_show.jpg

皆がスマホで撮影（後ろから見た図）
https://kodomoinfo.org/images/w_show_b.jpg

皆がスマホで撮影（舞台から見た図）
https://kodomoinfo.org/images/w_show_f.jpg

皆で声援、手拍子
https://kodomoinfo.org/images/wo_run_all.jpg

少し撮影（競技エリアからは離れて！）
https://kodomoinfo.org/images/w_run.jpg

皆がスマホで撮影。家族もスマホ
https://kodomoinfo.org/images/w_run_all.jpg

製作：掛札逸美。イラストはGeminiによる。未就学児施設の職員が用いる以外の利用は一切お断りします。